

魚津市新庁舎整備検討委員会 第7回会議 会議録（要旨）

【開催状況】

- 1 開催日時 令和6年3月19日（火）13:30～14:30
- 2 開催場所 魚津市役所2階 第1会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員
石川委員、浦田委員、大野委員、清水委員（会長）、西村委員、野澤委員、平田委員、山本委員、吉森委員、米澤委員
 - (2) 市
総務部長、財政課長ほか事務局員
 - (3) コンサルタント
株式会社 建設技術研究所
- 4 欠席者
大島委員、木下委員

【関連資料】

- 資料1 魚津市新庁舎整備基本構想（案）に対するパブリックコメントの実施結果
- 資料2 魚津市新庁舎整備基本構想（案）修正箇所一覧
- 資料3 魚津市新庁舎整備基本構想（案）※修正後
- 資料4 魚津市新庁舎整備基本構想（案） 概要版
- 資料5 魚津市新庁舎整備に向けた市民ワークショップ報告書
- 資料6 令和6年度新庁舎整備全体スケジュール

【会議内容】

- 1 開会
- 2 議題
 - (1) 魚津市新庁舎整備基本構想（案）について
- 3 その他
 - (1) 市民ワークショップ報告書について
 - (2) 令和6年度のスケジュールについて
- 4 次回の会議日程
- 5 閉会

【事務局】

資料1、資料2、資料3及び資料4について説明。

委員長

資料1から4まで事務局から説明していただきました。基本構想に関してご質問やご意見をいただけないでしょうか。

A委員

基本構想は、今まで何度も話し合った内容が反映されています。基本構想をたたき台として、早く基本計画に入っていった方が良いと思います。

B委員

財源の考え方については資料に記載のとおりだと思います。2月に総務省の財政課長と話す機会があり、魚津市が令和11年度に新庁舎整備を行うことを伝えたところ、国の方にも相談してほしいという話をしておられました。魚津市だけで財源を賄うべきではなく、国としっかりと連携を取っていただくことが重要だと思います。

新庁舎整備規模に人口推移の記載があります。以前も申し上げたとおり、魚津市の人口は国立社会保障・人口問題研究所の想定人口を上回ったことがありませんので、いろいろなケースを想定して新庁舎の規模を算定してほしいと思います。

魚津市は「書かない窓口」を先進的に取り組んでいます。集約化の話についても、新庁舎が開庁する令和11年度にはDX・ICT化が推進していることを想定すると、建物規模だけ大きくなるような庁舎とはしないでほしいと思います。情報リテラシーの観点からご不自由な方については窓口でしっかりと対応する必要がありますが、しっかりとした議論が必要だと思います。

基本構想については、いろいろな事例に基づき整理されたものですので否定する気持ちは全くありません。ただ今後、形をつくりあげていくときには、魚津市のまちづくりが何を目指しているのかという視点も必要だと思います。市庁舎は市のシンボルでもありますし、市の中でまちづくりの会社をつくる計画もあるため、そのような会社との連携も視野に入れていくと良いと思います。

C委員

B委員と同様の意見です。

委員長

3名の委員からいただいたご意見を基本構想に活かしていただければと思います。また前回同様、会長の責任をもって修正を行うことでよろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

次に「3 その他」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料5及び資料6について説明。

事務局

本日お配りした追加配布資料をご覧ください。委員の皆様の任期の延長に関するお願いです。

委員の任期は令和6年10月19日までとなっていますが、基本計画の策定が令和7年3月末を予定しておりますので、令和7年3月までの延長をお願いしたいと考えております。期間の延長分の委嘱状については秋頃を目処にお渡ししたいと考えております。

基本計画はこれまでの議論を踏まえたより具体的な話になりますので、団体等を代表して就任していただいている皆様については、その団体における職を離れた後も、これまでの議論をよくご承知の皆様に引き続き委員としてご意見をいただきたいと考えております。ただ、各団体としてのご意向もあると思いますので、団体の役職を離れることによって委員を交代したいということがあれば、事務局にご相談ください。また、この考えに基づきまして、清水会長が今月末をもちまして、北陸職業能力開発大学の校長職を離れられるということ聞いておりますが、引き続きこの委員会の会長職を務めていただきたいと思っております。会長にもご了承はいただいております。

公募委員という形でご参加いただいている皆様についても、引き続き委員としてご意見をいただきたいと思っております。

委員長

その他の(1)(2)の説明をいただきました。また、委員の皆様の任期延長についてのお願いもありました。今までの議論の内容をよくご存じの現委員の皆様に引き続きお引き受けいただきたいという話でした。任期延長の依頼は、別途事務局から連絡がありますので、それに回答していただければと思います。

委員の皆様からご発言等がありますか。

B委員

今後のスケジュールについて確認させてください。概要版の「8 今後の事業計画」のところで、令和6年度に基本計画を策定することになってはいますが、最初の事業者への発注時期はいつになるのでしょうか。

事務局

事業手法は令和6年度末に策定する基本計画で決定することになりますが、最初の基本設計の発注は令和7年度になります。

B委員

スケジュールの事業者選定の部分が令和6年度と令和7年度にまたがっていたので確認させていただきました。

建設技術研究所様に質問があります。基本構想のとりまとめをしていただいておりますが、プロから見てこの基本構想をどのように評価していらっしゃるでしょうか。これからの市役所づくりの基本構想として妥当かどうかというところを質問します。

事務局（株式会社 建設技術研究所）

アドバイスと言うより基本構想・基本計画の作成の支援をしており、市の担当者と日々相談しながら、この委員会で提示している資料の作成を行っています。

B委員

市職員の言われるがままではなく、プロの目から見てアドバイスも行っているのですか。建設技術研究所様の長年の知見を基に出来上がっているものと考えてもよろしいのでしょうか。

本格的な建設の時期としては令和9年度着手ということになりますよね。その時期を見据えたときに、今の建設コストと新庁舎整備の工事が開始される時期のコストをどのように見ているのでしょうか。

事務局（株式会社 建設技術研究所）

デフレーターが毎月公表されており、年度毎で、ある程度の上昇率を想定できます。昨年度に急激な物価上昇があったように、設定する期間によって傾斜は変わってきます。そのような状況を加味しつつ、今後の物価の予測を行っているところです。

B委員

私共の同業者で建設業の関係者によると、事業費が1.5倍になっているという話も聞いています。1.5倍より上に行くのか下に行くのかわかりませんが、今後国際的な情勢もいろいろあります。建設技術研究所様においては物価上昇を見込んだ数字を算出していただき、事務局サイドにお示ください。また、我々に対してもそのような情報については公開いただきたいと思います。

委員長

令和6年度から基本計画の作成に入りますが、問題になるであろう点をB委員が指摘してくださいました。

以上で予定された案件はその他を含めて全て終了しました。事務局からその他に何かあればお願いします。

事務局（総務部長）

本日は様々のご意見をいただきありがとうございました。

これまで基本構想について皆様に丁寧に議論いただき、作成に努めて参りました。本日いただいたご意見については、会長と相談しながら基本構想に反映したいと思っております。

来年度からは、基本計画の策定に向けて協議を進めてまいります。より具体的な内容についての検討になります。施設の集約化、複合化といった内容が協議事項となってまいりますので、引き続き委員の皆様のお力を貸していただけたらと思います。

基本構想につきましては、皆様のお陰をもちまして策定に至ることになり、ありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

事務局

次回の会議は、6月頃に開催し、施設の集約化・複合化等についてご意見をいただくことを想定しております。詳細な日程については別途調整させていただきます。事務局からは以上です。

以上